

一般会計実質収支23億円の黒字

# 令和5年度 決算の概要

令和5年度の決算がまとまりました。一般会計の実質収支は23億円の黒字、単年度収支は1億円の赤字となりました。本決算は今後、市議会決算特別委員会で審査されます。

☎財政課 841-1311、☎841-3039

## 一般会計・歳入

個人市民税が2億2600万円（1・0％）、固定資産税が1億9500万円（0・9％）の増収、法人市民税が4億1600万円（11・5％）の減収となり、市税収入全体では1億200万円（0・2％）の増収、地方交付税が3億7700万円（2・3％）の増加となりました。また、市駅周辺地区市街地開発事業補助金や物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金の増などで国庫支出金が8億4500万円（1・9％）増加、市債は臨時財政対策債が減となるも枚方市駅周辺再整備事業に係る市債の増などで21億9800万円（21・3％）増加したことから、歳入全体では72億2500万円（4・4％）の増加となりました。

### 令和5年度 各会計別決算の状況

(単位：千円)

会計区分	歳入額(A)	歳出額(B)	翌年度繰越財源(C)	実質収支(D) 【(A)-(B)-(C)】	前年度実質収支(E)	単年度収支【(D)-(E)】	
一般会計	170,923,624	168,062,270	549,749	2,311,605	2,454,773	▲ 143,168	
特別会計	国民健康保険	39,985,110	39,953,714	0	31,396	420,613	▲ 389,217
	土地取得	-	-	-	-	-	-
	自動車駐車場	97,153	111,137	0	▲ 13,984	▲ 64,019	50,035
	財産区	64,707	64,707	0	0	0	0
	介護保険	36,857,799	35,958,831	0	898,968	976,153	▲ 77,185
	後期高齢者医療	7,842,585	7,451,160	0	391,425	79,523	311,902
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	80,098	39,279	0	40,819	36,177	4,642
普通会計	170,832,656	167,930,483	549,749	2,352,424	2,490,950	▲ 138,526	

会計区分	収益的収入(A')	収益的支出(B')	純利益(A')-(B') 〔注1〕	前年度純利益 〔注1〕
企業会計	水道	6,587,734	5,089,246	1,498,488
	病院	10,901,194	11,145,161	▲ 243,967
	下水道	12,157,077	10,652,535	1,504,542

※土地取得は予算計上がないため「-」としています。

(注1) 純利益、前年度純利益のマイナス(▲)は純損失。

### 令和5年度決算に基づく健全化判断比率の状況

#### 財政状況は「健全」

自治体の財政が健全かどうかを示す「健全化判断比率」は全ての指標で「健全」となっています。(単位：%)

内 容	枚方市		早期健全化基準	財政再生基準
	令和5年度	令和4年度	黄信号(注1)	赤信号(注2)
<b>実質赤字比率</b> 一般会計等の赤字額が収入に対して占める割合	該当なし(黒字)	該当なし(黒字)	11.25	20.00
<b>連結実質赤字比率</b> 特別会計、企業会計を含む全会計の赤字額が収入に対して占める割合	該当なし(黒字)	該当なし(黒字)	16.25	30.00
<b>実質公債費比率</b> 借金の返済額等が収入に対して占める割合(全会計、一部事務組合、広域連合が対象)	1.5	0.6	25.0	35.0
<b>将来負担比率</b> 将来、支払わなければならないものが収入に対して占める割合(全会計、一部事務組合、広域連合、土地開発公社が対象)	なし	なし	350.0	

(注1) 黄信号の基準を超えた場合は、財政健全化のための計画を立てて、速やかに実行する必要があります。

(注2) 赤信号の基準を超えた場合は、国の指導のもとで財政を立て直すことになります。

(注3) 実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は0未満のため「該当なし・なし」となります。

## 一般会計・歳出

障害者自立支援費や生活保護費の増加などで扶助費が20億3600万円(5.1%)増加、国の低所得者支援に係る給付金や枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業費の増などで負担金、補助及び交付金、繰出金が57億5000万円(14.3%)増加し、歳出全体では76億300万円(4.7%)の増加となりました。

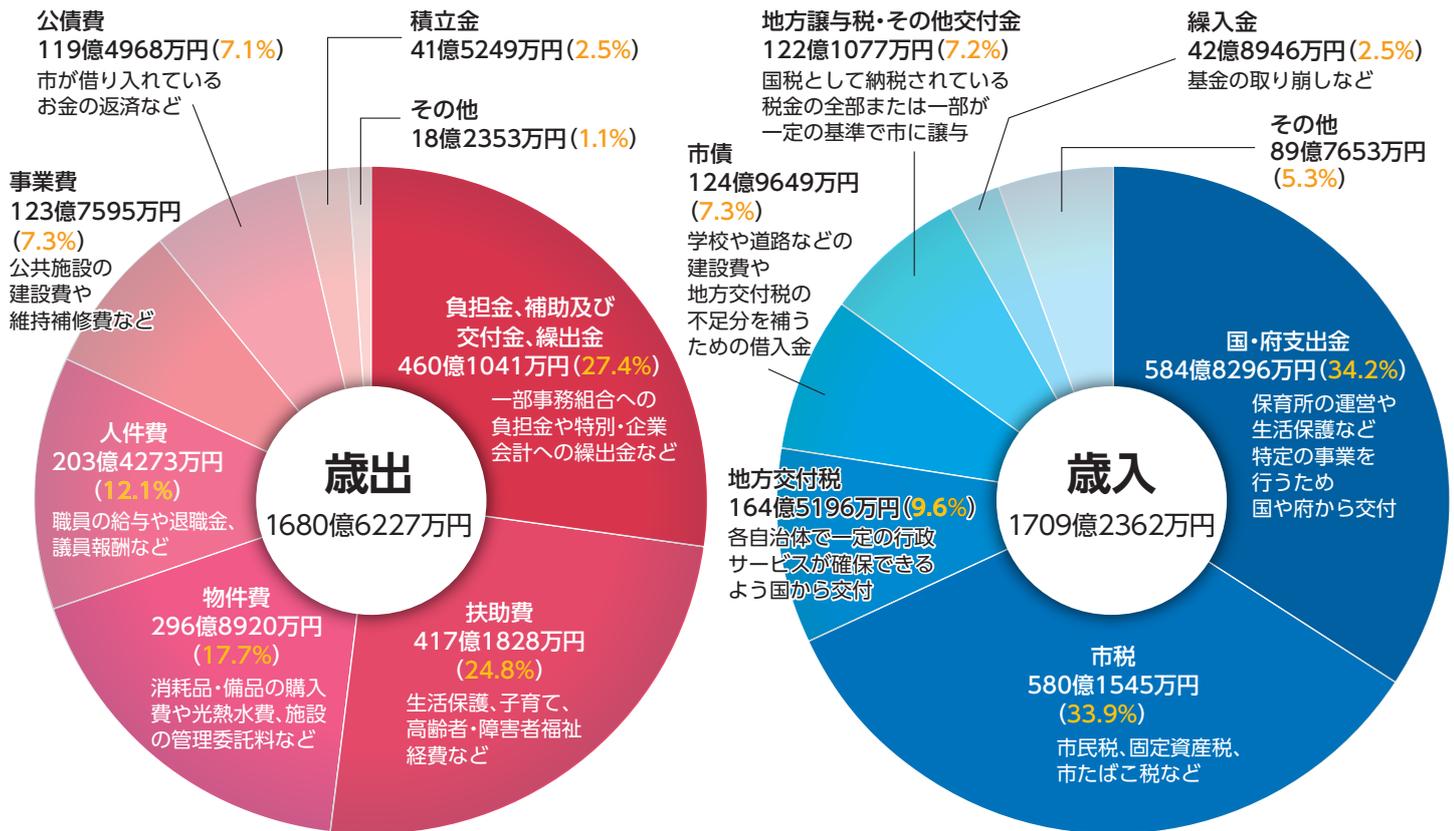
## 特別会計

実質収支は国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、母子父子寡婦福祉資金貸付金が黒字。財産区は収支均衡。自動車駐車場は赤字となりました。

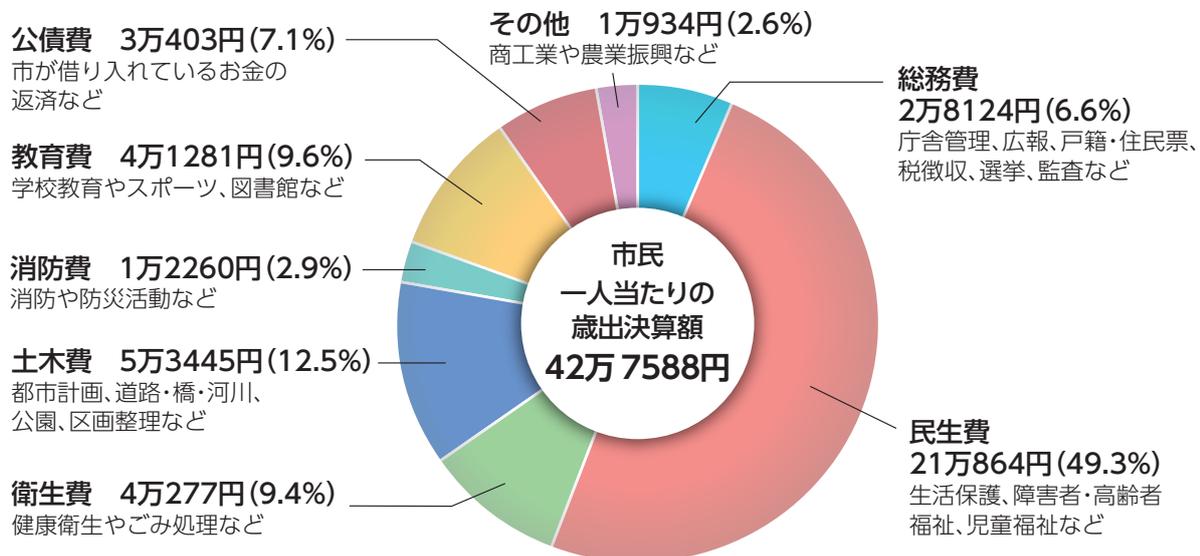
## 企業会計

水道事業、下水道事業で黒字、病院事業で赤字となりました。

## 令和5年度一般会計の決算内訳(%は構成比)



市の仕事を目的別に分類し、市民1人当たりの数字に置き換えてみると...



※各決算額を令和6年3月末時点の人口(住民基本台帳に基づく39万3047人)で割った数値。  
 ※総務省がとりまとめる地方財政白書では、市長村の規模別(大都市、中核市など)に同様の数値を掲載しています。